

はじめに



近年、生活様式の急速な変化や価値観の多様化などに伴い、子どもや子育て家庭を取り巻く環境は大きく変化しています。特に少子化の進展は、今後の経済的・社会的な影響が懸念されています。また、子育てについても、女性の社会進出に伴う保育ニーズの高まりや、児童虐待の顕在化、思春期の問題など、対応すべき課題が山積しています。

佐世保市ではこれらの課題に対応するために、佐世保市エンゼルプランを策定し、子どもや子育ての施策の推進を図るとともに、平成15年1月に「第2回少子化対応推進全国フォーラム in 佐世保」を開催するなど、少子化問題に対する意識啓発と、よりよい子育て環境づくりに努めてまいりました。

しかし、これまで少子化の主たる要因であった晩婚化・未婚化に加え、最近では、「夫婦の出生力そのものの低下」という新たな現象も明らかになってきました。この状況に対応するため、次世代育成支援対策推進法が施行され、各自治体に平成17年度から5年を1期とする、市町村行動計画の策定が義務付けられました。

本市では、これらの制度改革やこれまでの取り組みの成果を踏まえ、「佐世保市エンゼルプラン」を見直し、平成16年3月に、全国の市町村に先駆けたモデル事業として取り組んだ先行53市町村の一つとして『次世代育成支援「佐世保市行動計画」(佐世保市エンゼルプラン)』を策定しました。さらに、このたび、市町村合併に伴い、吉井町、世知原町、宇久町、小佐々町の計画の内容(数値目標等)を取り込んだ市町村合併版を作成いたしました。この計画は、平成21年度までに取り組むべき緊急の課題とその対応を定めたものです。

このプランに定める目標を実現するためには、行政や児童福祉施設などの積極的な取り組みもさることながら、市民の皆様が子どもや子育てについて考え、地域全体で支えていくことが大変重要なことと考えています。これからも、行政や関係機関、地域の団体、市民の皆様と共に手を携え、『笑顔あふれる子どもを育む“子育てモデル都市”佐世保』の実現に努めていきたいと考えています。

最後に、この『次世代育成支援「佐世保市行動計画」(佐世保市エンゼルプラン)』策定にあたり多大なご協力を賜りました、佐世保市保健・医療・福祉審議会、子育て専門部会の委員の皆様、並びに貴重なご意見を賜りました市民の皆様に感謝申し上げますとともに、今後のプラン推進にもご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年3月

佐世保市長 光 武 顕

目 次

はじめに

第1章 次世代育成支援「佐世保市行動計画」の基本的な考え方	1～6
--------------------------------------	-----

第2章 施策の体系	7～8
------------------	-----

第3章 プランの体系	9～10
-------------------	------

第4章 今後の具体的な方向性

1 地域で子どもと子育てを支える環境をつくる

(1) 子育て支援サービスとしての地域子育て支援事業	11～14
(2) 子どもや子育てを支える地域施設	15～19
(3) 子どもと子育てを支える地域をつくる	20～27
(4) 地域で行う子どもや子育て支援に関する市民活動	28
(5) 子どもの安全確保	29～31

2 健やかに子どもを産み育てることのできる環境をつくる

(1) 妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援	32～35
(2) 小児保健医療水準を維持・向上させるための環境整備	36～45
(3) 子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減	46～48
(4) 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進	49～50

3 子育てと仕事の両立を支える環境をつくる

保育所の入所定員	51
延長保育・夜間保育サービス	52
一時保育サービス(再掲)	53
休日保育サービス(再掲)	53
病後児保育サービス	54
放課後児童クラブ	55
その他の保育サービスの方向性	56～60

第5章 資料編

1 佐世保市の子どもに関する現状	61～62
2 少子化に関する市民アンケート調査報告書(一部抜粋)	63～78
3 統計資料	79～89
4 佐世保市における保健・医療・福祉施策の基本理念	90～91
5 佐世保市保健・医療・福祉審議会	92～95
6 次世代育成支援 佐世保市行動計画策定経緯	96～97